



4月1日、市役所南側広場で「桜まつり」が開催されました



あやせ未来会議 安藤多恵子

次期総合計画の策定では綾瀬市らしさを追求しないか

●綾瀬市の新たなまちづくりに向けて
Q 次期総合計画の策定では、「このような綾瀬なら住みたい」という思いを共有できよう、市民の意見を聞き、市職員の議論を経て、綾瀬らしさを追求しないか。
A 計画策定の各段階で、パブリックインボルブメント手法により、市民の声を聞く機会を設けたい。計画の原案を策定する総合計画策定委員会を庁内に設置し、各部署との検証などを繰り返しながら議論していく。

「やさしい日本語」を、他自治体の例を参考に導入しては。
A 綾瀬市まち・ひと・しごと創生総合戦略で、外国人の活躍施策を位置付け、着実に進めていきたい。また、「やさしい日本語」は、有効性などを調査研究していく。
Q 綾瀬市公共施設マネジメント基本方針の推進は、一日も早い着手が重要だと考えるが、今後の方針は。
A 公共施設の総量削減と更新費用の削減に向け、議論を進めている。今後は、第1期ハコモノ系施設適正配置アクションプランの策定を進める中で、市民や利用者との意見を交わし、複合化や多機能化を基本に総合的に推進する。



公明党 松澤 堅一

中学校では体験や見学を交えた心肺蘇生法教育を

●学校での危機管理体制について
Q 中学校の学習指導要領で盛り込まれる心肺蘇生法教育は、子どもたちが具体的に見学でき、体験をする実習が必要と考えるがどうか。
A 応急手当てや心肺蘇生法、AEDは、実習を通して技能を身につける指導が必要と考えている。消防本部と連携し、心肺蘇生トレーニングキットなどの活用や消防職員による出前授業を実施するなど、よりよい授業の実現に向け、取り組んでいきたい。
Q 心肺蘇生法の副読本を作成し、小学校で活用しては。
A 副読本作成は考えていないが、日本AED財団が希

望する小学校へ副読本を無料配付している。各学校へ情報提供をしていきたい。
●綾瀬のまちづくりの進捗について
Q 市のまちづくりを進める上で大きな役割を担っている、都市マスタープランの改定目的とスケジュールは。
A 7年前の改定時に比べ、現在は、少子高齢化や人口減少に加え、インターネットなどの進展により、社会的変化が短時間で起こる状況である。この社会情勢を踏まえ、国の動向や市の課題などを反映させるため、平成30年度に課題の抽出、31年度に基本方針の策定や市民説明会などを行い、32年度に計画を策定する。



あやせ未来会議 増田淳一郎

一居室のみ補強する耐震シエルト工法を周知しては

●大震災に対する備えについて
Q 地震の被害を少なくするための木造住宅耐震化補助事業は利用者が少ないが、建物全てではなく、日常で多く使用する一居室のみを耐震化する工法も対象となることを広報などで周知しては。
A 一居室のみを耐震化する耐震シエルト工法は、耐震化メニューの一つであり、広報やホームページ、パンフレットなどで周知している。
Q 消防団が使用している消防車は、震災時に障害物で

活動が困難になることが予想される。今後、車両更新の際、軽自動車のトラックに可搬ポンプを積載した、小型で使いやすい車両に変更しては。
A 現在5〜6人の乗車定員だが、可搬ポンプ積載型の軽自動車を導入した場合、定員が少なくなる。このため、一般車両で現場に行く人数が増えることを考慮しながら、車両導入を検討していきたい。
Q 大震災が発生した際は、非番の消防職員が招集されると思うが、遠方に住んで



新政会 比留川政彦

地図混乱地域の集団和解が円滑に進むための支援を

●地図混乱地域解消に向けた本市の対応について
Q 深谷南3丁目の旧海軍官舎跡地では、現況と公園、登記簿謄本の整合が取れない、地図混乱地域となっている。有志の地権者による集団和解の話が出ているが、市はどう支援するのか。
A 当該地域は、土地利用を促進すべき市街化区域であることに加え、位置が特定できていない市道も存在している状況である。法務局など、地図訂正に向けた関係部署との調整や土地利用を促す道路手続きなど、市で可能な支援をしていきたい。
Q 市の地籍調査で地図混乱地域を解消できないか。
A 地籍調査は、境界の位置と面積を確定させる事業である。地図混乱を解消させるための公園の筆界線を変えることは認められていないため、解消はできない。
●(仮称)綾瀬スマートIC設置に伴う周辺道路整備の進捗状況について
Q (仮称)綾瀬スマートIC

の調整や土地活用を促す道路手続きなど、市で可能な支援をしていきたい。
Q 市の地籍調査で地図混乱地域を解消できないか。
A 地籍調査は、境界の位置と面積を確定させる事業である。地図混乱を解消させるための公園の筆界線を変えることは認められていないため、解消はできない。
●(仮称)綾瀬スマートIC設置に伴う周辺道路整備の進捗状況について
Q (仮称)綾瀬スマートIC

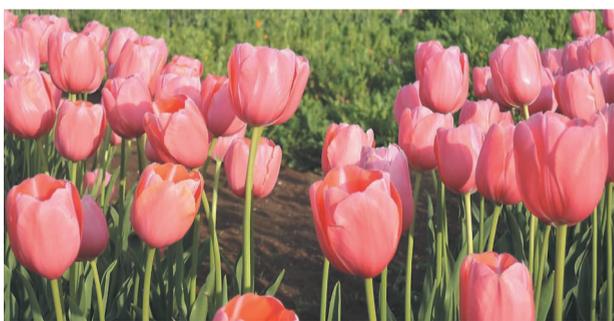


あやせ未来会議 佐竹 百里

就労者の離職を防ぎ定着に向けた支援を実施しないか

●就労者支援について
Q さまざまな就労者支援に取り組む中、課題と対策は。
A 学校や中小企業からは雇用のミスマッチや短期間での離職などが課題だと聞いている。課題解決に向けて、障害者、若年者、女性、外国人への就労支援をピラミッド型にそれぞれ体系立てし、ものづくりのまちの取り組みとして、人への支援を強化している。
Q 就労者の離職を防ぐため、どう支援していくのか。
A 悩みの相談や企業へのアドバイスを行うキャリアカウンセラーを就職先の企業に派遣し、定着率向上を図る。
Q 新卒者に向けた就労支援の実施状況はどうか。

●自治会への委託事業について
Q 自治会は、役員や当番の負担が大きいなどの理由から加入者が増えず、加入率が74・6%に留まっている。市が依頼している人材選出案件を見直す必要はないか。
A 市は各自治会に対して委員などの推薦を依頼しているが、委員選出が大きな負担になっていることは、市自治会長連絡協議会から聞いています。各課と調整し、平成29年度からは選出依頼委員件数を3分の1に削減することにより、負担軽減に努めています。



深谷中央2号公園に咲くきれいなチューリップ



市公式マスコットキャラクター「あやびい」

ンターチェンジ周辺の、道路ネットワークの整備状況は。
A 地区幹線道路として、市道325号線、93311号線を整備中であり、通過車両の進入が懸念される地区では、地域交通対策委員会による交通対策整備計画が策定された。今後も、安全安心な住環境と交通環境を確保したい。